

子どもの気持ち!

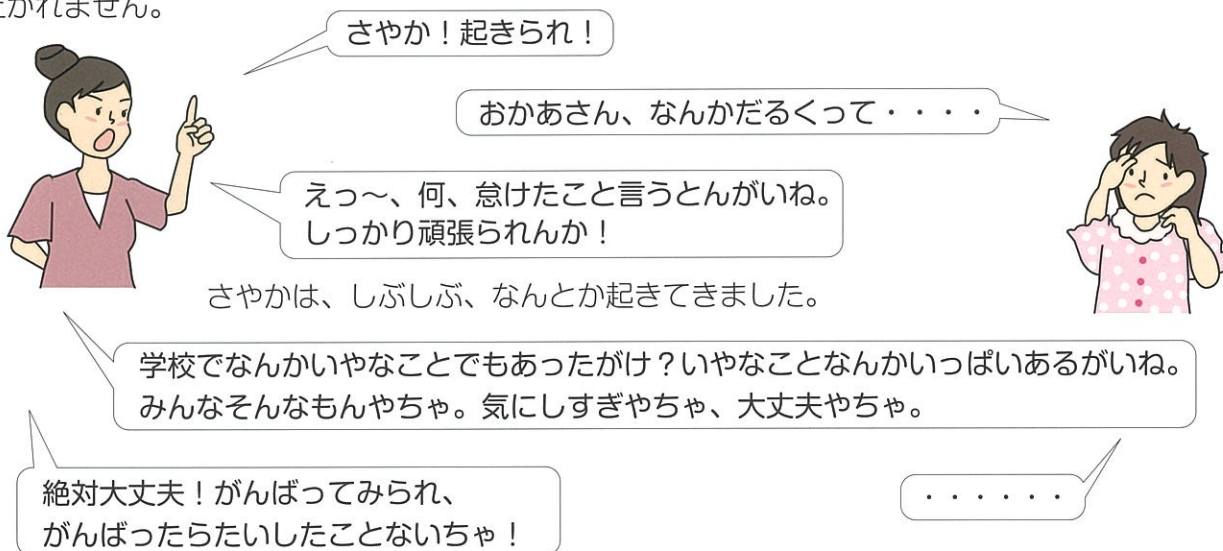
4-6 エピソード

本当にわかっているの?

さやかは真面目な中学生。毎日元気に学校に行っていましたが、最近、仲良しのクラスメートと意見が合わず、少し孤立しています。その様子は、先生から聞いて母親も知ってはいましたが、しばらくは黙って様子を見ることにしていました。

さやかは親に心配はかけまいと明るくふるまっていますが、だんだん、学校にも行くのがつらくなってきました。

さやかは今日もがんばって行かなければと思い、朝起きようとしましたが、体がだるくなかなか起き上がれません。



さやかは母親に心配かけまいとがんばって出かけて行きました。



1 あなたが子どもの頃、学校に行きたくないと思った経験はありますか? それは、どうしてでしたか?

2 母親の気持ちを想像してみましょう。

3 さやかさんは、母親に本当は何と言いたかったでしょう。

4 さやかさんはどんな言葉をかけてほしかったでしょう?